

INFO-HIRO-21

第465号 2019年1月16日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

平成30年度 弘前大学大学院人文社会科学研究科 修士論文成果発表会開催のお知らせ

- ・ 日 時
2019年1月30日（水） 14:30～19:55（予定）
- ・ 会 場
弘前大学50周年記念会館2階 岩木ホール
- ・ 内 容
人文社会科学研究科（修士課程）の大学院2年生の修士論文の発表

ー発表者・発表題目ー

- ・ 陳 佳琦（応用社会科学専攻）
「電気自動車メーカーの競争優位の比較分析」
- ・ 笹 浩樹（文化科学専攻）
「楊慎論 六朝・梅花・詩跡・楽府」
- ・ 小笠原 ふじこ（文化科学専攻）
「コミュニケーションワークショップにおける場の特性～インプロゲームを事例として～」
- ・ 栄 昊宇（文化科学専攻）
「満州時代(1931～1946)における高木恭造についての研究ー高木恭造の文学活動を中心にー」
- ・ 朱 貞敏（文化科学専攻）
「洪大容研究ーその自然観と科学活動を中心ー」
- ・ 木村 文香（文化科学専攻）
「文化施設における文化財害虫の光反応に基づく防除システムの検証」
- ・ マスニラ ビンティ マト フセイン（文化科学専攻）
「文化的課程としての感情表出とその価値づけ：泣くことについての比較研究」
- ・ 長尾 彩花（文化科学専攻）
「海防から見た蝦夷地警備～松前藩復讐期と第二次幕領期を中心に～」
- ・ 相馬 志織（文化科学専攻）
「古代日本の儀礼と君臣秩序」
- ・ 櫻井 歆太郎（文化科学専攻）



「青森県津軽地方における民俗宗教再考」

・長船 亜紀子（文化科学専攻）

「女性農業者のライフコースとジェンダー—青森県における選択可能性の拡大—」

・板垣 貴子（文化科学専攻）

「江戸川乱歩作品における感覚表象の変遷」

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。
※入場無料、事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

「福島災害医療セミナー in 弘前 2018」開催のお知らせ

保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 被ばく医療教育研修部門では、福島県立医科大学災害医療総合学習センター、青森県診療放射線技師会との共催による“福島災害医療セミナー in 弘前2018”を下記の日程で開催いたします。

福島の実情について知ること、被ばく医療への理解を深めていただければと思います。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日程： 2019年2月16日（土）～17日（日）

開催場所： 弘前大学大学院保健学研究科（弘前市本町66-1）

募集人員： 医師，診療放射線技師，看護師等（20名程度）＊事前申込制・受講無料

プログラム：

◆2月16日（土）

13:00 - 14:00 ①講義「福島の震災」（1時間）

14:10 - 17:30 ②講義「福島における放射線健康リスク」（3時間）

◆2月17日（日）

08:30 - 10:30 ③ワークショップ「福島の現状を考える」（2時間）

10:40 - 12:00 ④演習「よろず健康相談演習」（1時間半）

12:10 - 13:30 ⑤講義「原発事故後の健康リスクコミュニケーションと医療者の責任」（1時間半）

※このほかe-learning による事前学習を受講していただきます。

申込方法： 事前申し込み制となります。

下記ウェブサイトの特設ページから申し込み手続きを行ってください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクト ホームページ

(URL) <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>



□受講の可否については2月初旬にメールでのご連絡を予定しております。



【申し込み締め切り】 平成31年1月31日（木）

共催： 福島県立医科大学 災害医療総合学習センター
青森県診療放射線技師会
弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

【お問い合わせ】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田，柏村）

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

Eメール：kuwata@hirosaki-u.ac.jp TEL 0172-39-5518 FAX 0172-39-5912

弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

第1回 RNECセミナー（Radiological Nursing Education Center セミナー）

弘前大学大学院保健学研究科放射線看護教育支援センターは平成27年度から開設した博士前期課程の放射線看護高度看護実践コースの教育に対する支援や看護職・看護教員を対象としたセミナー等の開催や相談活動を行っています。

この度は、国際的な視野で放射線看護教育を強化するために海外から2名の講師を招聘し、アメリカにおける高度実践看護師の教育と課題ならびにCNS（Clinical Nurse Specialist）の活動について、台湾における災害看護・放射線災害の実態と人材育成についての理解を深めることを目的として開催致します。

興味・関心のある方，どなたでも参加可能です。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

【日時】 平成31年2月21日（木） 15:00～17:30

【会場】 保健学研究科 第33講義室（弘前市本町66-1）

【対象】 興味・関心のある方，どなたでも参加可能 ※無料

【プログラム】 ※発表等はすべて英語で行います



時 間	内 容
15:00～	Seminar start Opening remarks
15:10～	Lecture 1: Lynda A. Mackin先生, PhD, AG PCNP-BC, CCNS (UCSF School of Nursing) 「Clinical Nurse Specialist Education, Competency and Credentialing in the United States: Assuring sustainability of the advanced practice nursing role」
16:20～	Lecture 2: 賴甫誌 (Fu-Chih Lai) 先生, RN, Ph.D. (Taipei Medical University College of Nursing) 「The Use of Block Chain for the Prevention, Response, and Recovery of Radiation Disaster in Eastern Asia: Reflections from Japan to Taiwan」
17:30	Seminar close Closing remarks

【お問い合わせ】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村・桑田）

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL: 0172-39-5518 E-mail: hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度情報処理学会東北支部研究会（弘前大学）（発表論文募集）

日時： 2019年2月21日（木）9：30～17：30（開催時間は予定）

会場： 弘前大学総合教育棟の3階309講義室

〒036-8561 青森県弘前市文京町1 文京地区

アクセス → https://www.hirosaki-u.ac.jp/wp_access.html

発表申込方法：

申込締切日までに、下記の内容を申込先まで電子メールにてお知らせ下さい。

- (1) 発表題目
- (2) 著者氏名と所属（登壇者名の前に○印）
- (3) 発表会参加者の連絡先メールアドレス

申込締切：2019年2月8日（金）21:00まで

申込先：長瀬 智行

〒036-8561 青森県弘前市文京町3

弘前大学理工学部電子情報工学科

電話番号0172-39-3632, FAX番号0172-39-3632

E-mail: ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp

備考

- ・発表申し込み件数にもよりますが、発表時間は質疑応答を含め15分～20分の予定です。
- ・発表用機材としてプロジェクタを準備します。ノートパソコン等はご自身のものを持参ください。
- ・開催日当日に講演原稿を50部持参していただきますが、様式ならびに部数につきましては別途ご連絡を差し上げます。
- ・研究会終了後の懇親会は行いませんので予めご了承ください。

リンゴ成果普及促進事業

「青森リンゴシンポジウム ～リンゴ生産地域の現状と展望～」開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科では、このたび青森県のリンゴ産業の更なる活性化のため標題のシンポジウムを開催いたします。

青森県のリンゴ生産から流通までの各課題とその解決法や、将来の展望について専門家に詳しくご講演いただきます。また、プライムアップル！（ふじ）の試食会も実施予定です。

事前の申し込み等は不要ですので、参加を希望される方は当日お気軽に会場へお越しください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】 平成31年1月29日（火） 13：00～17：00
※質疑応答含む

【場 所】 JAつがる弘前本店 3階ホール
（弘前市大字城東北四丁目1-1）

【テーマ】 「リンゴ生産地域の現状と展望」



【内 容（プログラム）】

司会：三浦 富智（弘前大学大学院保健学研究科 准教授）

- 13：00～13：05 開会挨拶
- 13：05～13：30 講演1「青森県りんご生産振興の推進方針について」
講師 三上 道彦（青森県りんご果樹課 課長代理）
- 13：30～13：55 講演2「青森県におけるリンゴ育種・栽培の現状と課題（仮）」
講師 初山 慶道
（青森県産業技術センターりんご研究所 品種開発部長）
- 13：55～14：15 講演3「青森県におけるリンゴ生産と流通の課題（仮）」
講師 天内 正博（JAつがる弘前代表理事常務）
- 14：15～14：35 講演4「青森県におけるリンゴ輸出の現状と課題（仮）」
講師 鈴木 隆（青森県りんご輸出協会 事務局長）

- 14：35～15：10 休憩・プライムアップル！（ふじ）試食

- 15：10～15：30 講演5「リンゴの健康機能性と機能性表示食品（仮）」
講師 庄司 俊彦
（農研機構 食品研究部門食品機能評価ユニット長）

- 15：30～15：50 講演6「リンゴ中の機能性成分の分析と課題（仮）」
講師 高橋 匡
（青森県産業技術センター弘前工業研究所 研究管理員）
- 15：50～16：10 講演7「JAつがる弘前における機能性表示食品プライムアップル！の開発（仮）」
講師 廣田 寛央（JAつがる弘前 指導部指導課 課長）
斎藤 誠（JAつがる弘前 りんご部りんご課 課長）

- 16：10～16：45 総合討議
- 16：45～16：55 総評 壽松木 章（岩手大学名誉教授）
- 16：55～17：00 閉会挨拶

【参加費】 無料

【対 象】 本学教職員・大学院生・学部学生，リンゴ生産者，リンゴ流通業者，
リンゴ加工業者，一般市民，青森県内行政関係者ほか どなたでも

◇本事業は，国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業（うち技術開発・成果普及等推進事業）・対象領域：果樹（リンゴ）」の助成を受けて実施しております。

【お問い合わせ】弘前大学保健学研究科 総務グループ

TEL0172-39-5910 Eメール：jm5906@hirosaki-u.ac.jp

「研究リーダー力向上支援セミナー」開催のお知らせ（再掲）

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）の一環として，補助事業連携機関や地域の教育研究機関・企業等における女性研究者の研究リーダーの資質・能力向上を目的とした「研究リーダー力向上支援セミナー」を開催いたします。

講師には，大型研究プロジェクトや組織のリーダーとして活躍してこられた東北大学副学長（広報・共同参画担当），医学部・医学系研究科教授の大隅 典子先生をお招きし，女性リーダーとして研究プロジェクトを円滑にマネジメントするために求められること等について，男女共同参画推進の観点も含め，ご経験を踏まえて講演をいただきます。ぜひご参加ください。

記

- ◇日 時：平成31年1月31日（木）15:30～17:00
- ◇会 場：弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール
- ◇講 師：大隅 典子 先生
東北大学副学長（広報・共同参画担当），
医学部・医学系研究科教授
- ◇演 題：「女性研究者の応援団として：シンデレラ症候群からの脱却」
- ◇参加費：無料
- ◇対 象：北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議構成機関の方々
あおりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク構成機関
の方々
- ◇定 員：約50名
- ◇申 込：1月24日（木）までに、①お名前、②ご所属、③ご連絡先を
お書き添えのうえメールまたはファックスでお申込みください。
- ◇主 催：弘前大学、北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議
- ◇後 援：あおりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク
- ◇参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/7073.html>
- ◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室
TEL：0172-39-3888／FAX:0172-39-3889
Email：equality@hirosaki-u.ac.jp
URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>



シンポジウム「弘前大学C O I ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2019」開催（再掲）

今回のサブテーマ“ソーシャル・ヘルスイノベーション P J 最前線”

ヘルスリテラシーをいかに高めるか：教育こそすべて
ー寿命革命：『健康BD』と『新健診モデル』でQOL & GNHを
最大化しSDGsに貢献するー

青森県の短命県脱却と、県民・国民の健康寿命延伸、QOL（生活の質）とGNH（幸福度）の最大化による「寿命革命」実現に向けて、弘前C O I 拠点の超多項目BDを基盤とした社会実装戦略と、真の「健康の未来」について徹底討論するため、産学官金民トップが一堂に会するサミットを開催します。

今回は、青森県金木町で定年退職後に起業し「笹餅」を作りながら、地元津軽でご活躍されている生涯現役 笹餅名人 桑田ミサオ氏(91)を特別ゲストにお招きして講話をいただくほか、これまで同様、第一線で活躍する研究者や企業のトップに加え、料理研究家の浜内千波先生など豪華ゲストが講演やパネルディスカッションする予定です。

参加は無料ですが、事前のお申し込みが必要です。
例年、早い段階で満席となりますので、お早目のお申し込みをお願いいたします。

●今回の基調講演●

弘前大学大学院医学研究科特任教授で、弘前大学C O I 拠点長、研究リーダーである
中路重之先生が「健康未来イノベーション戦略：最終章へ（仮）」と題し、講演します。

●今回の目玉企画1●

笹餅名人：桑田ミサオ氏を特別ゲストにお迎えします。桑田氏は青森県金木町で定年退職後に



笹餅づくりをはじめ、75歳の時に「笹餅屋」を起業、91歳の現在も1年に5万個の笹餅をひとりで製造・販売をしています。
「生涯現役こそ元気の源（仮）」と題してお話を伺います。

●今回の目玉企画2●

ハウス食品グループ本社 経営役/ハウスウェルネスフーズ 常務取締役 山本佳弘氏をゲスト講師にお迎えし、「高齢者の健康な食を提唱する（仮）」と題して、ご講演いただきます。

●今回の目玉企画3●

アツギ 代表取締役社長 工藤洋志氏をゲスト講師にお迎えし、
「衣(医)で健康と美を科学する（仮）」と題して、ご講演いただきます。

●今回の目玉企画4●

例年、サミットや東京開催のフォーラムでも大好評をいただいている著名な料理研究家 浜内千波先生に登壇いただきます。
演題は「“減塩”も健康意識の運動から」

他にも盛りだくさんの内容でお送りいたします。ご期待ください。

シンポジウム「弘前大学C O I ヘルシーエイジング・イノベーションサミット2019」

日 時： 2019年2月8日(金)13:00-17:15

(ネットワーキングパーティー17:30-19:00)

場 所： アートホテル弘前シティ・プレミアホール（青森県弘前市大町1-1-2）

<https://www.art-hirosaki-city.com/>

対 象： 一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等 300名様（先着）

参加費： 無料（ネットワーキングパーティーに参加される方は、3,000円程度の会費を頂戴いたします。）

申 込： 事前のお申し込みをいただいております。

添付のチラシ2枚目をご参照の上、メールかFAXにてお申し込み下さい。

※先着順とさせていただきます。

定員に達し次第、締め切らせていただきますのでお早めにお申し込みください。

<プログラム>

※内容、登壇者、演題は変更となる可能性があります。ご了承ください。

■開会挨拶

弘前大学長 佐藤敬 青森県知事 三村申吾 弘前市長 櫻田宏

■共催挨拶

（国研）科学技術振興機構（JST）

■来賓挨拶

C O I S T R E A M 文部科学省

■基調講演

弘前大学大学院医学研究科特任教授（RL）中路重之
「健康未来イノベーション戦略：最終章へ（仮）」

■特別講話

笹餅名人 桑田ミサオ氏「生涯現役こそ元気の源（仮）」

■特別講演1

ハウス食品グループ本社(株)経営役・研究開発本部副本部長
ハウスウェルネスフーズ(株)常務取締役 山本佳弘氏
「高齢者の健康な食を提唱する(仮)」

■特別講演2

アツギ(株)代表取締役社長 社長執行役員 工藤洋志氏
「衣(医)で健康と美を科学する(仮)」

■特別講演3

料理研究家 浜内千波氏「“減塩”も健康意識の運動から」

■特別企画1 ビッグデータ解析チーム最前線:

京都大学大学院医学研究科教授／弘前大学COI拠点ビッグデータ解析タスクチームリーダー・奥野恭史氏
東京大学医科学研究所ヘルスインテリジェンスセンター教授・井元清哉氏
東京大学大学院医学系研究科特任准教授・平川晃弘氏

■特別企画2 データ連携最前線:

九州大学大学院医学研究院教授／九州大学サテライト拠点PL・二宮利治氏
京丹後市立弥栄病院院長／京都府立医科大学臨床教授・小田洋平氏
和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学教室教授・竹下達也氏
名桜大学大学院看護学研究科教授・砂川昌範氏

■特別企画3 社会実装リレー

花王
ライオン
イオン
ベネッセ
ローソン
エーザイ
テクノスルガ・ラボ
マルマンコンピュータサービス ほか

■パネルディスカッション

「寿命革命：ヘルスリテラシーで生活者QOL & GNHを最大化する！」
MD・AD：日経BP社医療局アドバイザー 宮田満氏
AD：COI総括ビジョナリーリーダー代理
名古屋大学総長補佐・同大医学部附属病院 教授 水野正明 氏
PL：市民(健幸リーダー・食生活改善推進員)・行政・大学・企業(COI)・金融代表者など

■閉会挨拶

弘前大学副学長(COI担当)／医学研究科長 若林孝一

■交流会：ネットワーキングパーティー

■併催企画：ポスター(デモ)セッション・だし活キッチン提案レシピ試食会など

◇弘前大学COI研究推進機構ホームページ

<http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/activity.html?id=321>

学 内 掲 示 板

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

開催日： H31年 1月24日（木）、2月21日（木）

時間： 14：30～15：30 （時間内は出入り自由です。）

場所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対象： 本学の教職員

参加スタッフ： 室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先： 弘前大学学生特別支援室

T E L：0172-39-3266（内線3266） E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】<http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>
○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。<https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第50号」

<http://www.janu.jp/report/koho/50gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029